

市立芦屋病院 糖尿病・内分泌内科外来に 通院の患者さんへ

【ご挨拶】

いつもお世話になっております。コロナ禍の最中に、外来で当科受診され、お疲れ様です。その中でも、保険制度の改定や、新薬が発売されており、コロナ禍でバタバタしており、患者さんにうまく伝わっていないかもしれませんので、改めてご案内します。



市立芦屋病院
糖尿病・内分泌内科部長 紺屋浩之

本日のテーマ

① 便利な血糖測定器

② 新たな新薬について

- * インスリン
- * GLP-1製剤(注射、配合注射、内服薬)
- * グルカゴン吸入薬(低血糖発作用)

①自己血糖測定

インスリン注射、GLP-1受容体作動薬注射をされている患者さんは、血糖自己測定(SMBG)を毎日施行されているかと思います。

2020年4月から保険の改訂で、フリースタイルリブレを使用してSMBGできる患者さんの適応が変わりました。

SMBG とは **S**elf-**M**onitoring of **B**lood **G**lucose :の略です。

血糖変動パターンを把握することで、インスリン投与方法や投与量調整、運動療法・食事療法の適正化に結びつけるため、患者様自身が簡易血糖測定器で血糖値を測定することをいいます。



便利な血糖測定器 フリースタイルリブレとは

患者さんの良質な血糖コントロールのために、
豊富なグルコース情報を「見える化」します。

FreeStyleリブレフラッシュグルコースモニタリングシステムは2つの主要な部品で構成されています。手のひらサイズのReaderと、上腕の後ろ側に装着する使い捨てセンサー。

Readerを使って、ワイヤレスでセンサーをスキャンすることで、グルコース値を測定することができます（フラッシュグルコースモニタリング）。また、Readerには、血糖及び血中ケトン体測定機能が備わっており、FSプレシジョン血糖測定電極及びβ-ケトン測定電極を用いて測定することができます（電極を使用した測定）。

センサー（使い捨て）

直径35mm

厚さ5mm



※実物大



※実物大

Reader

メッセージ

現在の
グルコース値

食事のメモ

電極挿入口



メモの追加

グルコース値
トレンド矢印

追加
インスリンメモ
グルコース
グラフ

便利な血糖測定器 フリースタイルリブレとは

1 装着

小型（500円玉サイズ）のセンサーを上腕の後ろ側に装着します。



2 データの読み取り

センサーをスキャンすることで簡単に測定できます。衣服の上からでもスキャンできます。



3 確認

現在のグルコース値と8時間の履歴、血糖変動の傾向を示す矢印が表示されます。



インスリンを注射している患者さんで適応になっている患者さんがいるかと思えますので、主治医に適応があるか尋ねてみてください。患者さんの上腕にセンサーを2週間装着（2週毎にセンサー交換必要）するだけで、専用のリーダーだけでなくスマートフォン（一部の機種では不可）でも血糖測定が可能となります。指先からの血糖測定の回数も減らすことが可能です。

②糖尿病の新しい薬について — インスリン —

インスリンについては超速効型インスリンに酸を加えて皮膚からの吸収を早めて、食後血糖を低下させるものが発売されています。また新薬ではありませんが、**バイオンミラー製剤**のインスリンが発売され、治療費が節約できることも可能になっています。詳しくは一度担当医へご相談ください。



②糖尿病の新しい薬について — GLP-1製剤 —

週1回のGLP-1受容体作動薬は以前からありますが、減量効果のあるものが発売されています。またインスリンとGLP-1受容体作動薬の配合注射も発売されており、体重増加を来しにくい注射製剤です。

従来GLP-1受容体作動薬は注射薬のみでしたが、
内服薬も発売されています。

また、あたらしい作用機序の内服薬が近日発売予定です。

②糖尿病の新しい薬について — グルカゴン吸入薬（低血糖発作用） —

低血糖については、意識を失うような重症低血糖に使用できる
グルカゴン（血糖を上昇させるホルモン）の吸入薬が
発売されており、インスリン注射、内服薬で重症低血糖を認めた
患者さんに処方できるようになっています。



最後に

以上のように患者さんにとって便利な血糖測定器、インスリン、GLP-1製剤(注射、配合注射、内服薬)、新たな新薬、グルカゴン吸入薬が利用できますので、担当医やスタッフに是非お問い合わせください。

これからも患者さんが、治療に専念できるよう手助けしますので、よろしくお願いします。